

# なごや看護学会の発展を願って

名古屋市は、人口 230 万人の政令指定都市で、三種の神器の一つである草薙剣を祀る熱田神宮があり、尾張徳川家の城下町として栄えた歴史があります。モノづくりの町でもあり、リニアの開通も予定されている活気溢れる都市です。

この度、名古屋市立大学看護学部設立 20 周年を機に、なごや看護学会を設立いたしました。名古屋市内の看護職の方々と交流を深め、情報交換や研究成果を発表することで、看護の質の向上を目指し、2017 年 12 月に発起人会を発足しました。名古屋市行政、病院、訪問看護ステーション、保健所などの保健医療福祉機関や教育研究機関の看護職者の方々からご賛同をいただきました。

少子高齢社会、医療の高度化、チーム医療の推進、人々の健康に対する関心の高まりなど、社会情勢の変化により、看護職には高度な知識や判断力が求められています。本学会では、入院から在宅まで、生老病死という人間の健康に向き合う看護について、名古屋市や関係機関などと連携して、市民の健康生活の向上に寄与できる成果を創出する所存です。地域密着型の学会として、学会誌の刊行、学術集会の開催、研修会の開催などの活動を進めてまいります。

今後とも、皆さまの積極的なご参加、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2019 年 3 月吉日

堀 田 法 子  
なごや看護学会理事長  
(名古屋市立大学看護学部学部長)

